

ちびっこはうす保育園

所(園)長印	主任 印

自己評価表

令和 2 年度 (R2年4/1~R3年3/31)

園目標	① 安心してのびのび遊べることも ② 好奇心旺盛なことも ③ 自分で考え行動できることも	評価方法	A … 十分達成されている	80 % 以上
			B … 達成されている	50~80 %
			C … 取り組んでいるが、成果が十分でない	30~50 %
			D … 取り組みが、不十分である	30 % 未満

こどもの活動や状態に対する評価と、保育士自身の保育や援助、環境設定等に対する評価を総合的に判断して、年間に評価をお行う。

項目	内容	前期	後期
1. 保育	① 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	B	保育計画をオープンにして意見交換をしながら保育するよう努める。
	② 保育計画において職員全員が共通理解している	B	
	③ 子どもの意欲を誘う保育や過程を常に工夫しているか	B	
	④ 一日の流れは現行で良いか	B	
	⑤ 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか	B	
2. 行事	① 行事の種類や実施回数は適切か	B	コロナ禍で行事を前向きに検討する。
	② 行事の狙いを計画や実施に十分に生かしているか	B	
	③ 保護者の願いや意見を取り入れているか	B	
3. 環境	① 子どもの成長に即した保育環境になるよう工夫を重ねている	B	感染予防に留意しながら保育環境を整えていく。
	② 施設の内外・設備等の安全点検を計画的に行っている	B	
	③ 遊具・用具など、活用しやすいように整理、保管しているか	B	
4. 給食	① 給食が楽しく食べられるように工夫されているか	A	アレルギー対応を給食室と連携して進めている。
	② 食育を通して子どもたちが食に興味を持てるようにしている	A	
	③ 子どものサインを見逃さないようにしている	B	
	④ アレルギー除去食の対応	A	
	⑤ 衛生管理の徹底	A	
5. 情報	① おたよりやホームページを通じ園の情報を発信しているか	B	必要な時に遠慮なく「言える現場」を目指す。
	② 個人情報の管理は適切に行っているか	A	
6. 連携	① 地域や保護者との連携を図ると共に園の行事運営などに努めている	B	必要な時に遠慮なく「言える現場」を目指す。
	② 保育士同士協力しあって保育にあたっている	B	

項目	内 容		前期	後期		
7. 研究 研修	①	(園内) 計画、運営は適切か	B	オンライン研修の環境を整備する。	B	研修結果について、話し合い次の保育に生かしていく。 ZOOM研修等、積極的に取り入れていく。
	②	(園内) 研究の成果を日常の保育に生かし乳幼児の育ちに反映させている	B		B	
	③	(園内) 研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	B		B	
	④	(園外) 研究会・研修会・講演会への参加体制の充実を図っているか	B		B	
	⑤	(園外) 研修内容を園内に還元しているか	B		B	
	⑥	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つける事が出来るか	B		B	
	⑦	他のクラスについて、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べる事が出来ますか	B		B	
8. 経営 組織	①	係や仕事の分担・割り当ては適切か	B	各自が仕事の効率化を意識し、打ち合わせの日数、内容等精査する。	B	コロナ禍、担当者が急に休むこともあるので、職員全体の意識改革が必要。
	②	職員の配置は、適材・適所か	B		B	
	③	能率的、合理的な業務体制になっているか	B		B	
	④	職務内容が明らかで、協働できる体制になっているか	B		B	
	⑤	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	C		C	
	⑥	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	B		B	
	⑦	打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	B		C	
9. 保健 安全	①	避難訓練・交通安全教室を計画に基づいて適切に実施しているか	A		A	
	②	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、家庭への啓発を行っているか	B		B	
10. 子育て 支援	①	気軽に保護者の相談にのり、具体的な支援やアドバイスを行っているか	B	引き続き、嘱託医、マイ保健師等と連携し、保護者支援に当たる。	B	支援やアドバイスなど、必要に応じて職員間で相談しながら進めていく。
	②	医療機関・児童相談所などの専門機関と連携をとって必要な情報を提供しているか	B		B	

☆総 評

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対応が一番の配慮事項だった。
今後も、環境設定、保育内容、行事の取り組み方法等、検討していきたい。